THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1st January and 7th September 2014)

日本調教の 5 歳馬**ジャスタウェイ【130】**が 3 月のドバイデューティフリー(G1)での圧巻のパフォーマンスにより、6 ヶ月連続でワールドベストレースホースランキングのトップに立った。今回特筆すべきは、前回発表後に施行されたトップクラスのレースにおいて、3 歳世代が際立った活躍を見せたことである。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings

Leading Horses

Rank	Horse	Rating	Trained
1	**JUST A WAY (JPN)**	**130**	JPN
2	**AUSTRALIA (GB)**	**126**	IRE
2	**KINGMAN (GB)**	**126**	GB
2	**VARIETY CLUB (SAF)**	**126**	UAE
5	**SEA THE MOON (GER)**	**125**	GER
6	**CALIFORNIA CHROME (USA)**	**124**	USA
6	**GAME ON DUDE (USA)**	**124**	USA
6	**GOLD SHIP (JPN)**	**124**	JPN
6	**TAGHROODA (GB)**	**124**	GB
6	**THE FUGUE (GB)**	**124**	GB

英・愛ダービーを制した**オーストラリア【126】**は 8 月の英インターナショナル S(G1)でこれまでのベストパフォーマンスを見せ、今回 2 位タイとなった。すでに両ダービーを制していた同馬であるが、この競走では仏ダービー馬**ザグレイギャツビー【121】**を 2 馬身差で降し、G1 3 勝目をあげた。

オーストラリアと並ぶのが、5 月にチャンピオンズマイル(G1)を 4 馬身差で制した**ヴァライエティクラブ【126】**と、8 月にジャックルマロワ賞(G1)を快勝し、G1 4 連勝を飾った**キングマン【126】**である。

北米では、**シェアドビリーフ【122】**がパシフィッククラシック **S**(G1)を快勝し、無敗の連勝記録を更新した。この競走では UAE ダービー勝馬トーストオブニューヨークに 2 馬身 3/4 という決定的な差をつけ降し、その結果通算 6 戦 6 勝、2 着との着差の合計を 31 馬身 3/4 とした。

前回の発表後、牝馬で目立った活躍を見せたのが**タペストリー【120】**である。愛オークス(G1)では直線よく追い込んで 2 着となった同馬であるが、ヨークシャーオークス(G1)では上位 2 頭で 3 着以下に 7 馬身以上の大差をつけ突き放し、**タグルーダ【124】**に初めて土をつけることとなった。